

大分工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	保健・体育	
科目基礎情報							
科目番号	3326			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	実技			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電気電子工学科			対象学年	4		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	「現代保健体育」大修館書店, 「最新スポーツルール」大修館書店						
担当教員	川内谷 一志,詫摩 英明						
到達目標							
(1) 基礎体力の維持・向上を目標とする。(ゲームと記録) (2) 体育実技で行った運動種目のルールを正確に理解し, ゲームを楽しむことができるようにする。(ゲーム)							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	全ての授業に参加し積極的に活動を行う			授業に参加し積極的に活動を行う		積極的な授業参加を行わない	
評価項目2	あらゆる運動に必要な基礎体力を身につけている			運動をある程度行うための基礎体力を身につけている		運動を行うための基礎体力がみについていない	
評価項目3	体育実技で行うスポーツのルールを十分に理解し, 積極的にゲームを楽しむことができる			体育実技で行うスポーツのルールをある程度理解して, ゲームを楽しむことができる		体育実技で行うスポーツのルールを理解できず, ゲームを行うことができない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	スポーツテスト(運動能力テスト, 体力診断テスト)を実施して, 個人の体力を把握させる。実施種目では,積極的,意欲的な参加と活発的な活動を目指す。スポーツの実践を通じて,責任感を持ち,協調性のある行動がとれるようにするスポーツマンシップについても十分な理解を促す。						
授業の進め方・方法	到達目標の(1)と(2)について実技でで評価する。 総合評価=授業で行った各種目の実技点の平均 総合評価は, 前期評価と後期評価を平均して評価する。総合評価6 0 点以上を合格とする。再試験は実施しない。						
注意点	授業は, 学校指定の体操服・運動靴・体育館シューズで行う。 授業で行うスポーツのルールを調べておく。						
評価							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	陸上競技 (高跳び)		3 年次に学習した高跳びを行い、個々の記録測定を行う		
		2週	陸上競技 (高跳び)		3 年次に学習した高跳びを行い、個々の記録測定を行う		
		3週	スポーツテスト①		運動能力テスト (50m, 立幅跳, ハンドボール投, 持久走)を正確に実施する		
		4週	スポーツテスト②		体力診断テスト (握力, 反復横跳び, 長座体前屈, 上体起こし)を正確に実施する		
		5週	バレーボール①		3 年次よりさらに個人技能を生かしたゲームを展開し,審判法を習得する		
		6週	バレーボール②		3 年次よりさらに個人技能を生かしたゲームを展開し,審判法を習得する		
		7週	バレーボール③		3 年次よりさらに個人技能を生かしたゲームを展開し,審判法を習得する		
		8週	ソフトボール (男子) ① ソフトテニス (女子) ①		ゲームによる技能の向上と審判法を習得する。 ストローク, サーブなどの個人技能を習得する。		
	2ndQ	9週	ソフトボール (男子) ② ソフトテニス (女子) ②		ゲームによる技能の向上と審判法を習得する。 ストローク, サーブなどの個人技能を習得する。		
		10週	ソフトボール (男子) ③ ソフトテニス (女子) ③		ゲームによる技能の向上と審判法を習得する。 ストローク, サーブなどの個人技能を習得する。		
		11週	ソフトボール (男子) ④ ソフトテニス (女子) ④		ゲームによる技能の向上と審判法を習得する。 ストローク, サーブなどの個人技能を習得する。		
		12週	水泳①		クロール, 平泳ぎを習得する。		
		13週	水泳②		クロール, 平泳ぎを習得する。		
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週	軟式野球 (男子) ① 硬式テニス (女子) ①		個人技能を向上させ,試合が楽しく出来る。ゲームによるルール・審判法を習得する。		
		2週	軟式野球 (男子) ② 硬式テニス (女子) ②		個人技能を向上させ,試合が楽しく出来る。ゲームによるルール・審判法を習得する。		
		3週	軟式野球 (男子) ③ 硬式テニス (女子) ③		個人技能を向上させ,試合が楽しく出来る。ゲームによるルール・審判法を習得する。		
		4週	サッカー (男子) ① 卓球 (女子) ①		個人技能の習得後、ゲームによるルール・審判法を習得する。		
		5週	サッカー (男子) ② 卓球 (女子) ②		個人技能の習得後、ゲームによるルール・審判法を習得する。		

		6週	サッカー（男子）③ 卓球（女子）③	個人技能の習得後、ゲームによるルール・審判法を習得する。
		7週	サッカー（男子）④ 卓球（女子）④	個人技能の習得後、ゲームによるルール・審判法を習得する。
		8週	バスケットボール①	個人技能の習得後、ゲームによるルール・審判法を習得する。
	4thQ	9週	バスケットボール②	個人技能の習得後、ゲームによるルール・審判法を習得する。
		10週	バスケットボール③	個人技能の習得後、ゲームによるルール・審判法を習得する。
		11週	バドミントン①	男女共通の種目として行い、個人技能を向上させ、ダブルスのゲームを学習する。
		12週	バドミントン②	男女共通の種目として行い、個人技能を向上させ、ダブルスのゲームを学習する。
		13週	バドミントン③	男女共通の種目として行い、個人技能を向上させ、ダブルスのゲームを学習する。
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100	
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	